



# 南阿波

「四国 の 右 下」  
**LIFE** Life Time Story  
in MINAMI AWA

「四国 の 右 下」若者創生協議会 サテライトオフィス競致深化事業



# What's MINAMI AWA?

no1

## 阿南市



世界に誇る LED 生産量 光のまち、阿南市  
便利さとほどよい田舎感が共存する活気ある街

阿南市は、四国最東端に位置し、県内第2位の人口約7万2千人が暮らす街です。徳島市内まで車で約40分、大阪や神戸へ直通バスが運行するアクセスの良さがあり、豊かな自然にも囲まれ、磯釣りやマリンスポーツも盛ん。特に地元漁協と連携したSUPでの街おこし事業を通じて交流人口を増やし、相乗効果で県外全体の盛り上げを狙っています。工業の街としても長い歴史と知名度を誇り、特に発光ダイオード(LED)の世界シェアトップクラス。青色発光ダイオードを世界で初めて製品化したのも阿南市の企業です。そこで、「光のまち阿南」を目指し、市内のLEDを使ったイベントや産業振興施策を進めてきました。さらに阿南市では、阿南工業高等専門学校をはじめとする地域の教育機関と密に連携をとることで、地元の若手人材を活用した取組みも実施しています。ほどよく都會で、都会でも近い。生活インフラも整い、不便もあるけど不自由ではない街、阿南市。特色を生かしたより良いまちづくりを目指しています。

ワークスペースについて

### ◎ あなんスマート・ワークオフィス

簡易キッチンを併設したコワーキングスペースと会議室があり、Webカメラやディスプレイ、Wi-Fiといった基本設備が整っていますので、すぐに業務を始めることができます。専用席から人の流れや起業家の支援による地域活性の活性化を図るとともに、在宅ワークなどの新しい働き方を提案しています。



黒潮をのぞむ温暖な漁師町、牟岐町  
海山川に囲まれたコンパクトな町

no2

## 牟岐町



牟岐町は、黒潮の影響を受け、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた人口約4,000人の町です。牟岐町内に位置する有人島(出羽島)は2017年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、観光・移住双方から注目を集めています。近年では、過疎化の加速、また高校がないことで、中学校卒業と同時に「地域」と「若者」の闇が深くなるなどの課題があることから、教育に注力し、保・小・中の「マイケージスクール」を機にタテ、ヨコ、ナナメ教育を進めています。また高校進学後も塾続いたキャリア教育支援を行い、地方で継続的な繋がりを見出すことができる若者の創出を行っています。これらの教育事業の中での全国から年間延べ1,000名の大学生が足を運び、自分の得意分野を活かした地域課題解決に取り組んでいます。地域住民や社会人、地域での交流を通して、さらなる人材循環を促し、関係人口の活性を増やしていきます。

ワークスペースについて

### ◎ 旧牟岐小学校カフェ室／モラスコむぎ

町内には、複数を活用したワークスペースがあります。また、令和3年8月には、牟岐町觀光交流施設「モラスコむぎ」内にコワーキングスペースが誕生します。共にWi-Fi等の設備を完備しており、様々なイベントの会場としても利用可能。ワークスペースとしての利用はもとより、牟岐町内での新たな出会いの場としても活用できます。



阿南市・牟岐町・美波町・海陽町などからなる「四国の中下」は、太平洋に面し、山と川に抱かれた自然豊かな場所です。お遍路のお接待文化が根付きおもてなしの精神があふれ、外から来た人も馴染みやすい土地柄です。「四国の中下」で働きたい!と思ったらすぐに仕事ができる施設も整っています。豊かな自然、あったかい人たち、快適なオフィス。「四国の中下」で新しい暮らしをはじめてみませんか。

四国八十八ヶ所 23番靈場・薬王寺の門前町、美波町  
昔から人々の心に根付くお接待文化による温かい港町

美波町は、2006年に日和佐町と由岐町の2町が合併して誕生した人口約6,400人の町です。太平洋の大瀬原と山の自然、澄み切った川などの大自然に囲まれている美波町は、昔から漁業の盛んな町として有名です。また、四国八十八ヶ所23番靈場「薬王寺」の門前町として栄え、年間約100万人の観光客が訪れます。訪れる方を温かく迎入れる文化が今も人々の心に根付いている町です。文化を残し伝えていくことを大切にしている美波町では、古い時代から残っている建物を活用し、今の時代に合った形で新たにその建物に息を吹き込む活動が盛んに行われています。しかし、地元を離れる若者は増加し、高齢化率も年々上がっています。そこで、2012年からサテライトオフィスの誘致を開始。今では20社(※2021年2月現在)の企業がサテライトオフィスを開設しています。そんな美波町は、サテライトオフィス誘致の先進地として、人や物、地域に息づく文化を活かし、地方で人が暮らし働き続けられる町としてのモデルづくりを行っています。



### ◎ ミナミマリンラボ

県の研究実験棟の一棟を改修し誕生した「ミナミマリンラボ」。窓の外に太平洋が広がる開放的なコワーキングスペース(STUDIO)や、遮隔ミーティングができる会議室(LIBRARY)、雑食系や休憩所としても使える多目的スペース(CAFE)など、用途に合わせた使い方が可能で、申請をいただければどなたでも利用可能です。利用者の方が仕事をしながら、地域の文化や自然に触れ、地元の方とも交流を重ねられるよう、様々なサポートを行っています。



海部川がつなぐ山と海 一次産業の箱庭、海陽町  
遊休施設だけでなく“まち資源”を活かす町

海陽町は、徳島県最南端に位置する、人口約9,000人の町です。2006年に海南町・海部町・宍喰町が合併して誕生しました。町の産業は林業と漁業で大きく栄えましたが、現在は躍進する技術への対応と後継者不足に悩んでいます。しかし、キャンプやマリンスポーツなどのアクティビティができる自然资源は毎年多くの人々を呼び込んでいます。1200haの森林地帯。「平成の名水百選」に選ばれた海部川。きれいな波の立つ、リアス式海岸の砂浜。山・川・海がひとつの町にあり、その水の循環が生まれることで豊かな自然を育んでいます。海陽町はどこにいても自然の偉大さをうかがい知ることのできる地域です。海陽町が目指すのは、参画企業の技術や想いが、地域に力を添えていくような町づくり。「まち資源」を活かした事業が展開できるよう、町が主体となってそのための仕組みを作っています。参画企業と町の相乗効果が生まれることで、海陽町がより住みやすく、より良い町づくりに取り組んでいます。



### ◎ コワーキングセンター城山莊

どなたでも1日から利用できる複数室のシェアオフィスです。自由に使えるオープンスペースはじめ、飲食店営業や加工販売も可能な機能性完備の施設です。目の前に海が広がっており、シャワールームやロッカールームも完備しているため、仕事の合間に気分転換でマリンスポーツを楽しむこともできます。参画企業や地元住民、「まち資源」を活用している産業従事者が交流する場、自治体も一緒に作っています。





# Satellite Office Style

## それに合ったサテライトオフィスのカタチ

### 柔軟に選べる2つのスタイル



#### Style. 1 『循環型サテライトオフィス』

地域にオフィスを所有せずシェアオフィスやコワーキングスペースを利用しながら、都市部と地方を行き来して仕事をするワークスタイルを「循環型サテライトオフィス」と呼びます。福利厚生としてのワーケーションの実現、普段と環境を変えた研修所としての活用、地域での新たなビジネス創出等、地域の特性を活かしながら、企業として新たな活動に挑戦したい方にお勧めのスタイルです。



#### Style. 2 『滞在型サテライトオフィス』

スタッフが常駐し、古民家や空き家等をリノベーションしたオフィスを活用しながら運営するワークスタイルを「滞在型サテライトオフィス」と呼びます。常駐するメリットは、地域に深く入り込むことができる点です。地域での新たな人材の雇用や、従業員に対して「地方ならではの働き方」を提供することで企業のプランディングに繋げたり、顕在化していない地域の課題を抽出し、新しいビジネスを開拓することが可能なスタイルです。

### 「四国の右下」サテライトオフィス認定制度



#### サテライトオフィス認定要件

次の(1)(2)(3)の条件のうち2つ以上に適合すると認められるもの

- (1)「四国の右下」地域に滞在型SOの開設を検討する企業
- (2)「四国の右下」地域にて循環型SOを年10日以上実施している企業
- (3)年1回以上、SO誘致に関する取組みへの協力をている企業

\* 認定を受けた企業は下記サポートをご利用いただけます。



#### 多彩なサポート内容

- 現地までの移動コストや滞在コストの低減サービス
- 現地滞在施設やコワーキングスペースの優先的利用
- 地域の祭や行事、企業同士の交流イベントなどの情報提供

徳島県内の移動と、県南部での宿泊にかかるコストを  
低減できるサービスをご用意しております。

\* 德島県での移動はサービス対象外です。

\* 1社あたりのサービス上限あり

- ➡ 公共交通機関 ➡ 交通費を助成
- ➡ レンタカー ➡ レンタカーデ、ガソリン代を助成
- ➡ SOシェアカー ➡ 2,000円/日・レンタル
- ➡ 自転車 ➡ ガソリン代を助成
- ➡ 宿泊 ➡ 滞在中の宿泊費を助成（最大13泊まで）

助成額等サービス詳細は下記までお問い合わせください。

株式会社あわえ 〒0884-70-5831 E-mail: info@awae.co.jp

# Support & Contact.info 01

## サポート体制とお問い合わせ

### 各自治体のサポート詳細

(補助制度に関するご質問は各自治体までお問い合わせ下さい。)

## 阿南市

阿南市への移住を検討している方に向けて、市内に宿泊し住居や仕事探しなどをする際の助成制度を設けています。円滑に移住や業務が開始できるようサポートを行っています！

### 阿南市役所産業部

#### 商工観光労政課

#### サテライトオフィス担当

☎ 0884-22-3290

E-mail: shoukou@anan-i-tokushima.jp



## 美波町

美波町では、新たに住民になることを希望する方に対する空き家改修費の補助などの支援制度を設けています。進出企業が地域にいち早く駆けむるために、地域住民との交流の場やイベントを多様設け、地域に根ざした企業になるためのサポート体制が整っております！

### 美波町役場 政策推進課

#### サテライトオフィス担当

☎ 0884-77-3616

E-mail: seisakusuishin@minami-i-tokushima.jp



## 牟岐町

牟岐町では、オフィス開設や移住を検討している方々へ、空き家の紹介はもちろん、空き家の有効活用に対しての補助メニューをご用意しています。また、自治体担当者が全力で地域との関わりづくりを支援します。「働く場所」と「地域との関わり」の両面から企業活動をサポートします！

### 牟岐町役場 産業課

#### サテライトオフィス担当



☎ 0884-72-3419

E-mail: mugisangyou@mugi-i-tokushima.jp



## 海陽町

海陽町に移住・定住する方向けに、空き家改修費用の補助サポートを設けています。コワーキングスペース城山話を拠点に、すでに海陽町に進出している企業と連携を取りながら、新しいビジネスに向けて走り出すためのサポートを全力で行います。日本屈指のサーフィンのメッカですので、仕事と趣味を両立するワークライフバランス環境も抜群です！

### 海陽町役場 商工観光課

#### サテライトオフィス担当

☎ 0884-76-1513

E-mail: syokokanko@kaiyo-town.jp



## 南部総合県民局

各自治体と協力しながら、徳島県からもサポート体制を整えております。県と地域が一丸となり、サテライトオフィス進出企業のバックアップを全力で行っています！

### 徳島県南部総合県民局

#### 地域創生防災部（美波）



#### 地域振興担当

E-mail: nanbu\_c\_m@pref.tokushima.jp

### SOに関するお問い合わせはこちら

美波町に本社を構え、主にSO企業誘致コンサルティングや地域広報支援を行っています。SOに関して、何か疑問・質問ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい！

### 株式会社あわえ

#### 「四国の右下」SO コンシェルジュ



☎ 0884-70-5831

E-mail: info@awae.co.jp